

その他の卸売業における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	国道を業務のため走行中、緩やかな左カーブで路面がアイスバーンのためハンドルを取られ、スリップして左側歩道に乗り上げ、走行車線に戻ろうとしたがスリップし、対向車線へと飛び出してしまい、対向車に正面衝突したものである。	72	10 ～ 29
1	9～ 10	走行中、雪道の轍でハンドル操作を誤った相手車両が、当社車両に衝突した。	50	10 ～ 29
1	3～4	リンゴ荷受作業中、トラック荷台から降りた際、右足の踵を強打し、痛みが発生した。	41	500 ～ 999
1	14～ 15	営業車で移動中、坂道を上って左カーブのある場所で、速度が出過ぎてしまったため、中央線から対向車線へ出てしまい、対向車のトラックに荷台に衝突してしまった。	24	50 ～ 99
1	18～ 19	配達の帰途、バイクで左カーブを走行中、ハンドル操作を誤り、道路縁石とバイクの間に左足が挟まれた。	20	10 ～ 29
1	7～8	会社の駐車場に於いて、社有車の軽四ワゴンを動かそうと始動スイッチを入れたところ、ギアが入った状態であったため急発進し前方にいた従業員に衝突して本人が右足を骨折した。なお、運転者は同僚だった。	52	10 ～ 29
1	10～ 11	業務のために路上を車で移動していたところ、赤信号停車中に後から別の車に追突され負傷した。	32	—

1	10～ 11	配達業務中、信号交差点において、青信号となり動き出した時に、後から猛スピードで来た車に追突された。	24	50 ～ 99
2	19～20	走行車線を約90km/hで走行中、前方に40～50km/hで無灯火のトラックが有るのに気づき、急ブレーキを掛けたが右にハンドルを切った。ハンドルが操作性を失い、右ガードレールに接触しそうになったので、左にハンドルを切った。左ガードレールに衝突しながら、停止した。	56	10 ～ 29
2	14～15	車で向かう途中（運転者）、信号が赤のため停車中に、後方の車に追突された。	38	30 ～ 49
3	10～11	配送用自動車運転中、入口交差点の赤信号から青に変わった直後、後方乗用車が衝突し頸椎を捻挫した。	44	500 ～ 999
3	10～11	高速道路走行中、前の車の予備タイヤが落下して、そのタイヤを避けることが出来ず衝突した。そのあと運転操作不能となり、ガードレールに衝突した。	24	1～ 9
3	15～16	道路の真ん中を走行中、右側追越車線を走っていた10tトラックが車線変更のために左車線に入ってきて右後方に接触し、自車は回転して停車した。	41	50 ～ 99
4	15～ 16	仕事で移動中、電話をする為に国道本線の横にあるバス停にハザードを付けて停車していたところ、相手の車が斜め後方から車線をはみ出してぶつかって来た。自分の車は2m前方に衝撃でずれて、後方から座席にかけて大破し、その際に首や腰、肩に痛みが出た。	59	50 ～ 99
5	17～ 18	給油所内でSS業務中、お客様の車の運転席ドアを閉めようとしたところ、お客様もドアを引いたため右手親指をドアに挟んでしまった。	19	—
5	19～ 20	社命により会社の車両を運転し得意先へ集金に向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車が右折してきて避けられず衝突し、胸部他を打撲した。	69	1～ 9
	11～	橋の上の道路で渋滞に遭って運転している社用車が停止中に、後方から来た自動車		30

5	12	に追突された。	52	～ 49
5	22～ 23	当社取引先店舗駐車場にて、納品のために商品を台車に積んで店舗駐車場内を移動中に、一般客車両が後方確認をせずに後進して来たので避けようとしたところ、バランスを崩して転倒し左足を負傷した。相手車両と接触はなく、当該車両はそのまま走り去ったため住所・氏名等の詳細は不明である。	54	100 ～ 299
5	10～ 11	トンネル前で右側車線の交通規制があり渋滞が発生した。渋滞に気付き、前の車と十分な車間距離（60m以上）をあけて減速（時速30km）し、それと同時にハザードを着けて後方車に知らせた。しかし、後方車は気付かず、時速70km前後で衝突した。	26	10 ～ 29
6	9～ 10	得意先である駐車場に車を止め、クリニックへ納品後、空のオリコンを片付けようと開けていた車のスライドドアに左手をかけ、右手でオリコンを片付けようとしたところ、駐車場が傾斜していた影響でスライドドアが閉まり、背後に植え込みがあったため身動きがとれず、左手指を挟んでしまった。	54	500 ～ 999
6	12～ 13	走行中、左側飲食店駐車場より相手車が直進して来たらしく、減速もなく車道に進入してきた為、自車の左側面スライドドアに激突され、右に横転した。相手車もはずみで右に横転する事故となった。目撃者によると、駐車場内を急加速し、その勢いのまま進入して行ったとのことである。ペダルの踏み違いによるらしい。	35	10 ～ 29
6	8～9	得意先に納品後、私道より県道へ行くため、右折しようとして一旦停止をして、左右確認後、双方車が通過しゆっくり発進して右折したところ、県道より走行してきたトレーラー車に左側面を当てられた。その際に身体を車内ぶつけられ、右肩・右腰を強打して打撲し、左手首を捻挫した。	48	10 ～ 29
7	15～16	社用車（ワンボックスカー）で客先へ商品を配達するため、高速道路を走行中、雨のためスリップし、中央分離帯に接触の単独事故により首などを負傷し、救急搬送された。	34	1～ 9
7	8～9	7本位ののぼりポールを設置場所まで運ぶ途中、駐車場のコンクリート製車止めにつまずき、転倒。その際、左膝と右手首を駐車場コンクリート路面に強打。	61	10 ～ 29

7	11~12	現場納品終了後、営業所に帰っている途中、交差点で信号待ちをしていたところ、自分が運転している営業車のトラックの後ろに乗用車が追突した。その衝撃で首がむち打ちになり、腰も痛めてしまった。	23	1~9
7	16~17	業務で郵便局に行った帰りに、交差点を青信号で横断中に、右折車と接触した。相手側の前方不注意によるもの。被害者本人は、「事故時の記憶がはっきりしない」とのこと。後で分かったことは、加害者は「ぶつかって初めて、人がいたことに気付いた」と言っている。また、加害車は、事故後、右ドアミラーとフロントガラスを損傷していた。	44	30~49
7	13~14	自動車の解体作業中、エアバッグの展開を実施したが作動しなかった。そのため、正規の手順に沿って未展開のエアバッグと装置を取りはずそうとしたところ突然エアバッグが展開し、そのまま後方へ弾き飛ばされた。その際、エアバッグで顔面を強打し、顔面、目、歯を損傷した。	54	10~29
7	14~15	営業車での移動中、坂道を降りるためにT字路を左折しようとした際、少し勾配のある道で右前輪が宙に浮いた状態になった。そのため、降車し営業車の前面から押し戻そうとしたが、戻りきらず、その反動で営業車が前進。止めきれず、塀と営業車の間に挟まってしまった。	30	1~9
7	10~11	配送業務中、ウィンカーを点けて左折待機していたところを追突された。	49	30~49
7	9~10	お客様宅で作業を終え、事務所に戻るため走行。事務所敷地内に投入するためウィンカーをあげ右折した時、後方車両が反対車線にはみ出し、追い抜きをかけ当方車両の運転席右ドア付近に追突した。	44	1~9
7	14~15	移動中に所用のためスーパーへ寄った後、駐車場から一般道へ出庫する際、場内の交通量が多く渋滞しており、前の車と共に停車した。その際に店舗前の別の駐車場から出庫しようとしていた別の車が、後方確認せずに後進し、当方の車に衝突した。	73	50~99
7	10~	車を運転していた際、赤信号停車中に後方からよそ見運転のトラックに追突され	46	1~

	11	た。		9
9	2～3	信号のない交差点で、走行している車と衝突し、負傷した。朝刊の配達中である。	40	10 ～ 29
9	13～ 14	食事協のプラットホームで、商品の格納作業のため歩行中、積み込み作業のためバックドアを開放したまま停車していた車両のバックドアに気付かず、眉間部分を接触し裂傷を負った。	52	10 ～ 29
9	10～ 11	路肩に停車中のトレーラー右後部（重機運搬用低床、空荷状態）に乗車中のタクシーが追突した、乗車位置は後部座席左側で、追突の衝撃で前に飛ばされ、フロントガラスに衝突した。	51	500 ～ 999
9	11～ 12	現場にて、納品の順番待ちのため社用車のトラックを停車させ、車外で現場監督と打ち合わせをしていたところ、サイドブレーキの引きが甘かったためトラックが前進した、止めようとして車の前に行ったところ、前方に停車していた別の4tトラックとの間に挟まれ、右胸を強打した。	62	1～ 9
10	13～ 14	店の駐車場内通路を歩いて横断中、前方から来た右折車と接触し、右手首骨折、頭部、頸椎、腰椎、右足打撲を負った。	48	100 ～ 299
10	12～ 13	現場から社用車で会社へ戻る途中の現場において、対向車待ちのため停車していた所、突然後方から追突され負傷した。相手車両をそのまま逃走し、現在不詳である。	30	10 ～ 29
11	12～ 13	電動丸鋸で木材を切っていたところ釘が節に当たって、鋸が手前側に跳ねてしまった時に手袋を巻き込んでしまい、スイッチを切るのが間に合わず、左手親指を切ってしまった。	35	50 ～ 99
11	11～ 12	病院の駐車場にて、運転席のドアを開き、車から降りる際、誤って右手が滑り、頭（顔）から地面に落ちて負傷した。	69	50 ～ 99
	14～	商品配送のため社用車を運転中、考え事をし前方不注意になりハンドル操作を誤		10

11	15	り、時速40～50kmでコンクリート柱へ衝突した。左足、右肩を打ち、骨折、靱帯損傷となった。	59	～ 29
12	18～19	片側2車線の道と交わるT字路で、右折時に右から左へ進んできた車が停車せずにきた為、衝突した。	42	10 ～ 29
12	18～19	顧客への商品配達中、県道を会社の車で走行していたところ、脇道から別の車が飛び出してきて衝突した。そのときの衝撃で、右の腰から背中にかけて打撲した。	23	10 ～ 29

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html